



社会福祉法人 大分県福祉会 大分市頭徳町 1-13-17 発行者 有松一郎 532-3472

### 新しい日常 ~ ピンチをチャンスに ~

昨年秋には、ラグビーワールドカップ開催を通じて、世界のひととの交流に感動や期待を感じていた。様々なイベントに参加し、子ども達も貴重な経験を重ねていた。ところが、新型コロナウイルス感染拡大により、一変した。

まず影響を受けたのは、学校が休校になったことだった。突然のことではあったが、子ども達は、ただならぬ状況にあることを知り、生活の変化を受け入れた。

そして別府厚生館・清明あけぼの学園・森の木では、通学できない不安やストレスをどう

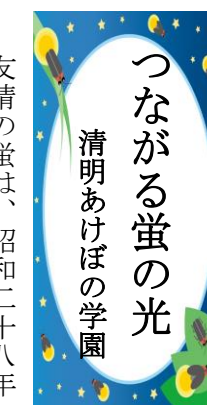
う軽減するかという課題に取り組んだ。施設には様々な専門職があり、このような状況こそ支援力を発揮するものである。例えばこの機会に、個別学習の充実を図る取組をしたり、施設の中でも楽しめるような活動を工夫したりして時間を有効に活用している。併せて地域を支える力として、相談や一時保護等で尽力しているところである。

うえの園では、高齢者や基礎疾患を有するといったハイリスクの方がおられ、感染が命に関わることを職員の間では、緊張が続いている。そんな折、生活の質の向上のために導入した介護ロボット（移乗用リフト、見守りセンサー等）は、直接支援において濃厚接

触の軽減を図るものとしても有効であり活用を進めている。また、再び帰省や面会の制限をする事態に備え、家族等との新しい交流の在り方としてインターネットの活用も今後進んでいくものと思われる。

滝尾保育園と明野しいのみ保育園では、密を避けることも、マスクをつけることもできない子ども達を保育する難しさを感じた。これまで以上に環境整備に心を配り、例えば、手洗いの工夫を行ったり、職員による消毒の機会を増やしたりした。また、行事の際には、小グループでの参加や時間の調整ができるような工夫をしている。子ども達の成長に大切な経験を今後も変わらず行うための工夫をすすめていく。

当法人においては、ワークライフバランスを推奨し、働き方の在り方を見直し始めていた中、新型コロナウイルス感染防止対策をしながらの生活は、私たちの意識改革を加速させる

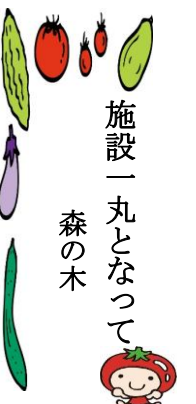


友情の蛍は、昭和二十八年六月十一日、ろうあ児施設あけぼの学園、山室寿園長とその教え子の後藤影氏並びに明治小学校区の皆さんの思いやりから交流が始まり、毎年続けられてきた。その後、昭和三十四年に、あけぼの学園で蛍の幼虫の人工ふ化に成功、ふ化した幼虫



また来年会おうね！

を明治小学校に送り、付近の小川に放流する「蛍の里帰り」行事も始まった。平成二十年度には明治小学校が竹田小学校に統合されることとなったが、竹田小学校がその想いを引継ぎ、今年六十八回目の「友情の蛍」が行なわれる予定であった。ところがコロナ禍において、初めての中止となった。その報を聞いた明治地区



施設一丸となって 森の木

児童養護施設森の木では、感染への対策による自粛生活について各ユニットで工夫をして過ごしている。全体では、遊ぶ場所や時間をユニットでずらしたり食事は職員のみが運んだりしている。

各ユニットの取り組みとして男子ユニットでは、全体行事の春レクが中止となったがバーベキューをしたいという意見が出された。消毒等に気を付けながら、子ども達と職員とでたくさん笑顔や会話が行き交う一日となった。

女子ユニットではボウリングセットを使いホールで遊んだ。子ども達で倒れたピンを並べる役やボールを投げる役を決め、子ども達自身で楽しく遊べる工夫をしていた。

幼児ユニットでは、中庭で野菜の苗植えなどの手伝いをした。収穫した野菜を見て「これは大きい」や「美味しそう」

六年生と学園児童との間でメールや文書による交流を行なっている。これからもみんなの想いを受け継ぎ途絶えさせることなく友情の蛍が育んだ絆を強くしていきたい。



## 希望に満ちた未来づくりへ

### 確かな福祉サービスの提供と

### 安心して働ける職場づくり

#### 社会福祉法人大分県福祉会

#### 理事長 有松 一郎

皆様におかれましては、平素より大分県福祉会に對しまして、多大なご協力、ご支援をたまわり、心より厚く御礼申し上げます。

さて本年は、年明けこそ穏やかであったものの、その後のコロナ禍により、世の有様が大きく変わることとなりました。当法人におきましては、日頃の感染症対策に加え、「ご利用者」と「家族の皆様」の絶大なご協力と、職員一同の緊張感ある日々の対応により、最初の波を無事に乗り越える事が出来ました。今日までの関係者の皆様のご尽力に、心より感謝申し上げます。引き続きニューノーマル構築に向け、ご当局の指導のもと、事業継続に向けた取り組みを進めてまいります。今しばらく新型コロナウイルスの根柢には時間が必要な状況で、ウイズコロナ下における確かな福祉サービスの提供につきましては、未だ試行錯誤の部分も多く、新型コロナに関する情報につきましても、錯綜している状況と感じております。マスクの着用、う

ト化等、テクノロジーを活かした生産性の高い職場づくりを通じて、従来の働き方改革の推進に加え、ウイズコロナ時代の、安心して働ける職場づくりに取り組んでまいります。

今年度の大分県福祉会では、コロナ禍における

勤務いただく役員はもとより、本会に期待と信頼をお寄せいただくすべての皆様に、混沌とした時代においても、たくましく進化を続けることを約束し、今後益々の皆様のご支援・ご協力をたまわりますことを、心よりお願い申し上げます。



トマト 採ったよ！

などと話をしており、採れた野菜を職員へ得意気に見せていた。採れた野菜は調理員が夕食に出してくれ苦手な子どももたくさん食べている。

### 理事会・評議員会

#### 【定時理事会】

○令和二年三月十九日（木）開催。規則改正、積立金取崩、別府厚生館母子室改修契約、うえの園通信カラオケリース契約、令和元年度第二次・第三次・第四次補正予算、うえの園・清明あけぼの学園防犯カメラ設置契約及びNDソフット契約、明野しいのみ保育園厨房機器契約・冷蔵庫リース契約・セキユリテイ設置契約、中央ホールディングスとの契約、令和二年度事業計画及び当初予算について審議し、承認された。

○令和二年五月二十八日（木）開催。令和元年度事業報告及び決算報告書、監査報告、理念、規則改正、退職慰労金支給、明野しいのみ保育園ネット遊具随意契約、評議員会開催について審議し、承認された。

#### 【定時評議員会】

○令和二年六月十八日（木）開催。令和元年度事業報告及び決算報告、監査報告、退職慰労金支給について審議し、承認された。

### 福祉サービス運営委員会

令和元年度第二回福祉サービス運営委員会を令和二年三月十二日（木）一四時半から予定し、資料作成・準備を行ったが、新型コロナウイルス感染症予防のため急遽、各施設からの重点課題取組と施設の現状、苦情について、ヒヤリハット、事故報告、疾病状況を報告書としてまとめた。委員会は中止とし資料配布とした。



### 『地域清掃』 キレイになったよ！ 明野しいのみ保育園

当園では自分達の過ごす園周辺をきれいにしようと年長クラスの園児が地域清掃に取り組んでいる。これまでも明野西町の有志の方々が共に活動に参加して行ってきた。

今年度は仮設園舎のある明野緑町自治会の山下会長が主旨に賛同してくださり地域の方と共に年長・年中クラスの園児四十七名と園近くの奥山公園で清掃活動を行った。普段よく遊ぶ公園でもあり、なじみのある場所でも子ども達も朝から「公園の掃除、頑張る！」と意気込んでいた。公園では約四十分間の清掃活動でポリ袋半分ほどのゴミを拾った。菓子の包み紙や空き



たくさんゴミを拾ったよ！

瓶、ペットボトルが多く捨てられており、中には使用済みの花火等もあった。清掃活動終了後に子ども達からは「ゴミがたくさん落ちていた。」「きれいな公園になって気持ちいい。」「公園を使う人が嬉しいと思う。」などの声がかれた。今回の経験で子ども達の中に美化意識が生まれ、公共の場の使い方やマナー

### 頼りにしてるよー パパクラブ 滝尾保育園



令和二年五月二十三日(土)、滝尾保育園パパクラブ総勢十一名により、第二園庭に二つ目の立派な砂場を作った。

を守るこの大切さが芽生えるきっかけになればと思う。また、今年度から奉仕や思いやりの心を育むことを目的に「青少年赤十字」のメンバーとなった。今回はそのワッペ

ちの為に家事や仕事に励む母親へ、子どもたちは、「いつもありがとう」の感謝の気持ちを伝えるため、手作りの贈り物を作成した。



例年作っているカードに加え、プラ板にカラフルで可愛い

五月三日、コロナ禍の中で迎えた今年の母の日行事ではあったが、例年と同様に微笑ましい母子の情景があった。

に内緒でサプライズの贈り物を用意することもたちの顔には笑顔がいっぱい溢れていた。当日、少し照れ臭そうにしながらも、自分たちが気持ちを込めて作ったプラ板を渡した。子ども達がかみながら絵の説明をする様子を見て、受け取るお母さんにも笑顔があふれていた。いつもとは違った手作りの贈り物を飾っている家庭もあり、母の日が終わってもぬくもりが続いているように感じた。新しい生活様式は、日常生活に変化をもたらしていくが、お互いを想う母子の温かい心のつながりは、今後も変化することはないだろう。職員も刻々と変化する状況に柔軟に対応しながら一貫した姿勢で母子の生活を支えていきたいと、改めて思えた一日だった。

使えるように加工したプレゼントを用意した。「何を描こうかな。」と悩みながらも、母親

の後すぐに数名の方が手を挙げてくれ、平成三十年六月三十日(土)、有志の方三名により、園庭に大きな砂場が誕生した。この事をきっかけに、子ども達の為にどうしようかと考えていることや活躍の場があるのでは、と話が進展し、令和元年六月、「パパクラブ」が発足し、保護者会、保育園と協力して、様々な活動に参加することが決まった。

そしておよそ一年が経ち、数々の活動を経て第二園庭の砂場作りにつながる。朝九時半に始まり、終了したのは十七時過ぎ。今回は重機を使わず、すべて手掘りで進めることに決め、皆気合の入った表情だったが、手にはマメがで



汗だくで頑張る「パパクラブ」

き、途中からテーピングを巻いて、クワやスコップ、最終的にはつるはしを使って必死に掘り進めていた。後半に差し掛かると巨大な石が出現し悪戦苦闘していたが、見事掘り出した時には、子ども達を思い出させるような満面の笑みで、思わず拍手が沸き起こった。

そして次の日、第二園庭の砂場を見つけると大喜びで遊ぶ子ども達の姿があった。

う言葉があった。その言葉の通りに進めてくれるお父さんは、滝尾保育園としても、子ども達にとっても、頼もしい存在である。今後の活躍が楽しみだ。

### 副園長挨拶

「森の木にきて」  
森の木  
岩尾 亮



四月一日  
付けで副施設長とし、着任して三か月が過ぎようとしています。

「子ども一人ひとりの最善のしあわせ追求」の使命の下テキパキと子どもに向き合う職員姿を見て感心する毎日です。しかし、一方で児童養護施設には「新しい社会的養育ビジョン」の中で、施設の高機能化・多機能化が求められ、クリアしなければならぬ様々な課題があるのもまた事実です。これまでのキャリアも活かしながら、一日でも早く戦力となれるよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。

「自覚と責任を持って」  
滝尾保育園  
堤 郁夫



本年四月より、大分県福祉社会の一員として仕事をさせていただきます。自覚と責任をもって職務に

専念したいと思えます。どうぞよろしくお願ひします。職務にあたっては、次の三つのことを大切にします。

まず、福祉や保育の本質について、現場の姿から学び続けます。

次に、社会や社会通念の変化に対応していける感性を磨き続けます。

さらに、本園にかかわるすべての人々の心情や願ひに寄り添います。

### 令和二年度 人事異動

- 副施設長・副園長  
【新任】  
岩尾 亮(森の木)
- 職員  
【昇格】主任  
山上 さとみ(別府厚生館)
- 【転任】  
【別府厚生館】  
首藤美咲(森の木)
- 【うえの園】  
津守克彦(別府厚生館)
- 【森の木】  
市山由美(明野しいのみ保育園)
- 【明野しいのみ保育園】  
原口直美(滝尾保育園)
- 谷川真希(滝尾保育園)
- 【新任】  
【うえの園】  
梅田いづみ 花畑貴士
- 【森の木】  
兵頭美紀 白杵瑠璃
- 坂間雅裕 川口哲夫
- 菅井チヨ 三重野遥芳
- 【滝尾保育園】  
松川 愛 中野美緒
- 藤原貴恵 氏川あすか
- 《明野しいのみ保育園》  
吉田未来
- 【退職】  
新田美優(うえの園)

### 編集委員

- 【編集責任者】  
関谷 眞佐子(うえの園・清明あけぼの学園)
- 【編集員】  
佐藤 誠(清明あけぼの学園)
- 津守 克彦(うえの園)
- 首藤 美咲(別府厚生館)
- 染矢 祥太(森の木)
- 秋月 忍(滝尾保育園)
- 日野 すみれ(明野しいのみ保育園)
- 【顧問】  
釘宮 和代(事務局長)

勘定科目	令和元年度決算書						貸借対照表		令和2年3月31日(単位:円)	
	法人本部	別府厚生館	うえの園	清明あけぼの学園	森の木	滝尾保育園	明野しいのみ保育園	合計		
流動資産	2,934,385	16,685,720	21,816,437	15,961,325	70,971,203	25,415,494	113,881,850	267,666,414		
固定資産	10,034,681	104,125,648	230,025,629	84,102,377	464,753,433	438,291,398	324,310,274	1,655,643,440		
資産の部合計	12,969,066	120,811,368	251,842,066	100,063,702	535,724,636	463,706,892	438,192,124	1,923,309,854		
流動負債	1,990,272	5,324,330	6,246,250	2,437,488	7,163,635	14,186,195	93,166,226	130,514,396		
固定負債	7,230,420	5,807,442	8,576,050	5,198,232	27,242,205	153,129,625	145,401,304	352,585,278		
負債の部合計	9,220,692	11,131,772	14,822,300	7,635,720	34,405,840	167,315,820	238,567,530	483,099,674		
基本金	23,798,445					19,557,000	30,312,000	73,667,445		
国庫補助金等特別積立金		28,318,024	134,911,123	43,662,049	161,672,824	191,045,002	93,092,300	652,701,322		
その他の積立金		48,700,000	37,180,000	27,825,000	165,450,000	8,000,000	22,350,000	309,505,000		
次期繰越活動増減差額	Δ 20,050,071	32,661,572	64,928,643	20,940,933	174,195,972	77,789,070	53,870,294	404,336,413		
純資産の部合計	3,748,374	109,679,596	237,019,766	92,427,982	501,318,796	296,391,072	199,624,594	1,440,210,180		
負債及び純資産の部合計	12,969,066	120,811,368	251,842,066	100,063,702	535,724,636	463,706,892	438,192,124	1,923,309,854		

大分県福祉社会事務局及び各施設においては、関係書類の閲覧に応じる用意があります。